

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	七彩ぷらす			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 23日 ~ 令和7年 2月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 23日 ~ 令和7年 2月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して通所を楽しみにしてくれていて、保護者の方にはおおむね満足していただいている。	送迎時の挨拶や職員の身だしなみ、施設の清潔感等、基本的なことは日々確認している。子どもや保護者と接する時の親しみやすさや謙虚な対応等、安心感や楽しみにつながるような雰囲気作りを心掛けている。	日々初心を忘れずに、基本的な事をその都度確認しながら支援・業務に向かうよう心がける。
2	保護者や子どものニーズに合わせた計画を作成し、計画に沿いながら共感的な支援を心掛ける事が出来る。	子どもの話や保護者からの話は速やかに職員間で共有し、その日の調子、困りごと、出来るようになった事など、細かく確認したり褒めたりして、支援につなげるようにしている。特に課題だった事が達成したら、本人の自信につながるよう褒め、保護者の安心感にもつながるよう様子を伝えている。	保護者のニーズだけでなく、子ども本人のニーズも丁寧に聞き、本人が楽しく達成感を感じながら成長していくための支援が出来るような計画作成を心掛ける。

3	職員の資質向上や虐待防止等の施設内外の研修を受講する機会を設けている。	施設内の各委員会で研修を企画・開催したり、外部講師を招いての安全運転研修、専門機関での虐待防止やペアレントトレーニング等、毎年受講出来ているものが多い。各職員間での情報収集にも努めている。	受講した研修を日々の支援や業務に活かせるよう、振り返りや見直しを行っていく。引き続き、資質向上につながる研修の情報収集に努め、様々な知識・経験を深めていく。
---	-------------------------------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の不足、事業所の行事への招待、自立支援協議会への参加が出来ていない等、地域との交流の不足。	利用児童の学校の友達との関係性であったり、保護者の意向等から開催が難しいと考えられる。地域の施設との連携も不足している。	今後児童や保護者の意向の変化に応じて、検討していく。地域の施設との連携を図り、自立支援協議会の開催予定等、情報収集をする。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、兄弟への支援、家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会、情報提供の機会等、家族支援の不足。	保護者同士の交流については、希望者もいれば特に望まないご家庭もある。事業所外での家族や兄弟向けのイベントの案内は行っている。	今後、ご家族それぞれの要望の変化に応じて、希望に応じた対応を検討していく。イベントの案内は引き続き行っていく。
3	就学前に利用していた園や施設との相互理解、学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の支援内容等の情報提供、移行支援に関することの不足。	就学前のやり取りは、ご家族か相談員との情報共有が多くなるので、直接園とのやり取りをする機会がない。卒業後に関しても、相談員とのやりとりで近況報告等はあるが、情報提供の機会はない。	今後新しく利用する方は、なるべく就学前の状況の相互理解が出来るよう、園とも連絡を取っていく。また、卒業を控えている子ども達も、安心して就労・自立に向かえるよう、計画にも移行支援の内容を盛り込みながら支援していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童デイサービス七彩ばらす		2025年 2月28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	プレイルーム・静養室・必要に応じて事務室と、活動と人数によって分けている。	静養室をもう少し個別で過ごせるようになればいいと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		送迎時間も見ながら不足のないよう配置するよう心掛けている。	児童を迎え入れるタイミングによってバタバタとすることがあるので、優先順位を考えながら工夫していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	プレイルームから廊下やトイレが死角になってしまう事があるので、気が付いたことがあれば職員が動いている。	子どもたちが過ごしやすいよう配慮していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		日々清掃を丁寧に心掛けている。	清掃、設備点検などより丁寧に心掛ける。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		静養室に仕切りを設けたり、場合によって事務室で、静かな空間でクールダウンができるよう促している。	状況によって声を掛け合いながら室内の使い方を工夫していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	毎月会議で話したり、日々話している。	振り返りが足りないと感じるので、時間を設けたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	アンケート結果を活用している項目もある。	貴重な意見を参考に改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員間で話しやすい雰囲気心がけながら話せている。	継続していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	系列施設の職員から助言をもらうこともある。	適切な評価を受け、業務改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内外の研修参加機会が確保されてる。	今後も研修の情報収集をし、資質向上につながる研修を受講できるようにする。

11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		事業所に合った内容で作成している。	都度見直し、公表していく。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		調査表でニーズを把握している。	より丁寧に分析できるよう、面談等も検討していく。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		会議の場で話し合うよう心掛けている。	職員の共通理解や、こどもの最善の利益を考慮した検討ができるよう話し合いたい。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	計画の共有・計画に沿った支援ができるよう努力している。	今後も計画を意識しながら支援を行っていく。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5	療育センターでの検査結果等も参考にしている。	適切なアセスメントを行っていく。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	5	地域支援・連携が不足している。	具体的に考えていく。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	話し合いながら行っている。	細かく情報共有しながら立案していく。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	マンネリ化してしまうときもある。	情報収集しながら新しいものを取り入れ、様々な経験ができるような活動プログラムを考える。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	集団活動は無理せず参加、個別でも出来る活動を提案している。	子どもの状況に合わせた支援を行っていく。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	前日にいなかった職員にも伝え漏れのないよう行っている。	確実に伝達できるよう努める。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	2	特に体調不良や癇癢等のことについては細かく伝え合っている。	気づいたことを伝え合うよう心掛ける。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	特に様子の変化があった際は細かく記録している。	正しく記録し、支援につなげていく。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一回のモニタリングを行っている。	職員間で共有しながら行っていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	4	たまに確認している。	意識して組み合わせ支援していく。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	活動や食事等、自己選択・決定の場面を設けている。	洗濯・決定の力を育てられるような工夫をしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	主に児発管が参加している。	職員間で情報共有しながら、かかわっている職員が参加していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	7	学校との連携に努めている。	様々な機関と連携できるよう努める。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時に子どもの様子も含めて情報共有している。	引き続き連携していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6	保護者から就学前の情報をいただくことはある。	必要に応じて園とも連携していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6	相談員を通しての情報提供は行っている。	必要に応じて卒業後のフォローも行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6		必要に応じて行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		様々な背景があり難しいが、要望に応じて検討する。
	33	〈自立支援〉協議会等へ積極的に参加しているか。		8		開催の情報を収集し、参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	送迎時や連絡帳で細かく伝達することを心がけている。	今後も細かく伝達しあえるよう心掛ける。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	家族向けの研修の案内はしている。	研修の情報提供をしていく。

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	3	その都度行っている。	わかりやすい丁寧な説明を心がける。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	3	調査表を基に、口頭で話を聞くこともある。	児童の話も含め、丁寧に意向を確認していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	2		渡す際に丁寧な説明を心がける。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	2	保護者の様子を見ながら声をかけている。	丁寧に対応していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8	きょうだいに声をかける等している。	必要に応じて検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		速やかに対応するようにしている。	迅速かつ適切な対応を心がける。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	定期的に通信を発行している。	今後も通信やHPで情報発信をしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			今後も気を付けていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		様々な方法で伝達している。	今後も工夫していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		必要に応じて検討する。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	訓練は実施している。	今後も様々な想定の実施を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		委員会等で検討し共有する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		服薬の内容に変更があった際は状態の変化に留意している。	その都度確認を行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	5		アレルギーのある児童の利用があれば対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		委員会等で検討し共有する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		委員会等で検討し共有する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	その都度共有している。	その都度共有して改善につなげる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年1回、研修を受けている。	委員会等で検討し共有する。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	年1回、研修を受けている。	委員会等で検討し共有する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス七彩ぷらす

公表日 2025年2月28日

利用児童数 27人

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2		2	駐車スペースが狭く、迎えに行ったときにすれ違うのが大変だと感じたことがある。	子どもたちが安全に過ごせるよう、環境を工夫してスペース確保に努めます。駐車スペースも、混雑時は誘導します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			1		今後も適切な人数配置数になるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		2		それぞれの特性に応じて快適に過ごせる環境づくりをしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1		1		日々の清掃、備品整備等、都度確実に行います。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			「専門性」という面ではわからない。	日々の支援や研修を通して、専門性を深められるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					定期的に振り返り、見直ししながら支援してまいります。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					今後も児童や保護者のニーズを適切に分析しながら計画を作成します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					今後も具体的な内容を設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				おやつは、希望する時のみ食べる、食べない時もある、でいいと思う。	おやつは持ち帰り等で対応します。計画に沿った支援を心がけます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					職員間で日々話し合いながら、様々なプログラムを提供していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	4	8	交流はなくても大丈夫。	今後交流の希望が増えれば機会を設けることも検討します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17			1		今後も丁寧な説明を心がけます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17			1		保護者や児童にわかりやすい説明を心がけます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	5	4	5		ご家族に参考になるような研修会があれば、情報提供をします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1			小さなことでも子どもの状態を教えてくれて助かっている。	日頃から共通理解の元支援ができるよう、コミュニケーションをとっていきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	2		送迎時だけだとなかなかじっくり話すことができないと感じることがある。 定期的な面談はないが、その都度声をかけや助言、様子を教えてもらっている。	定期的にゆっくり話す機会を設けられるよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					児童や保護者に寄り添い、親身になって考えながら支援することを心がけます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	4	7	保護者会など交流してみたい。 保護者同士・きょうだい同士の交流はないが、きょうだいにも声をかけてくれたり、行事でプレゼントをもらえたりしているので支援はあると思う。	希望に応じて保護者参加のイベントを検討します。今後も、きょうだい支援につながるよう行事等を工夫します。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			3	いつも話を聞いてくれていると思う。 お願いに対してすぐに返答してもらい対応してくれた。	相談や申し入れに迅速・適切に対応できるよう努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			1		口頭や連絡帳、電話連絡等、その都度伝達方法を配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14			4	ホームページで子どもの様子を見られるようになるのが楽しみ。	ホームページにて発信していきます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					今後も十分配慮していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	3		2		様々な状況を想定しながら訓練を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			2	お知らせや写真で訓練の様子を教えてもらっている。	様々な災害に備え訓練を行います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		2		安全に配慮しながら支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		2		事故やけがのないよう十分配慮します。発生した場合も、丁寧かつ速やかな対応を心がけます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18				職員に甘えている様子もあるので、安心していていると思う。	安心感を持ち続けてもらえるよう支援します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18				友達と遊ぶのが楽しそう。	楽しい気持ちが続けられるよう、様々な工夫をしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					今後も様々なニーズに応じた支援を心がけます。